

ストレッチに関する技術

利用分野

ストレッチ動作を行うマッサージ機を扱う分野であれば、どの分野でも利用可能です。

技術の必要性

マッサージ動作に活用することができる技術です。

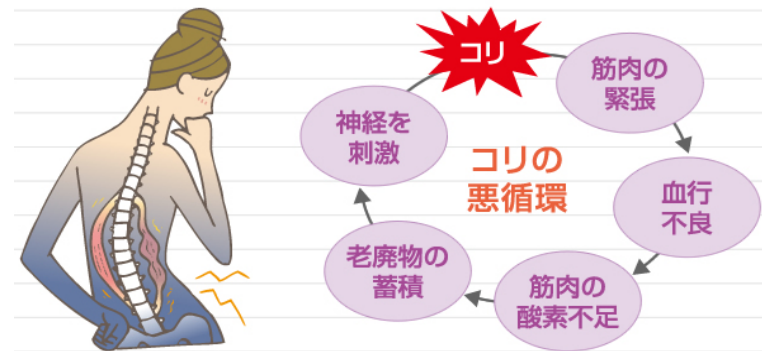
対象特許権

- ①特許第4789739号(フットレストを利用したストレッチ)
- ②特許第4789742号(全身のストレッチに関する技術)
- ③特許第5253061号(前屈ストレッチに関する技術)
- ④特許第5364623号(下肢のストレッチに関する技術)
- ⑤特許第5394020号(上半身のストレッチに関する技術)
- ⑥特許第5588583号(足首ストレッチ)
- ⑦特許第5635136号(背・腰・座に関する技術)
- ⑧特許第5658788号(全身のストレッチ)
- ⑨特許第5766488号(脚ストレッチ)
- ⑩特許第5847765号(全身のストレッチに関する技術)
- ⑪特許第6371605号(足先ストレッチ)
- ⑫特許第6663643号(足首ストレッチ)

対象特許権の概要

- ①フットレストを利用したストレッチ
- ②全身のストレッチに関する技術
- ③前屈ストレッチ動作
- ④下肢のストレッチ
- ⑤上半身のストレッチ
- ⑥足首ストレッチ
- ⑦背・腰・座の三次元的なストレッチ
- ⑧全身のストレッチ
- ⑨脚ストレッチ
- ⑩全身のストレッチ
- ⑪足先ストレッチ
- ⑫足首ストレッチ

コリの根本原因「姿勢」に着目したストレッチ運動



- 背骨や骨盤を支える筋肉に負担がかかります。
- その負担がコリになる悪循環を生みます。
- 姿勢の悪さがコリの根本原因です。

姿勢を正す
習慣づくりが大切です！

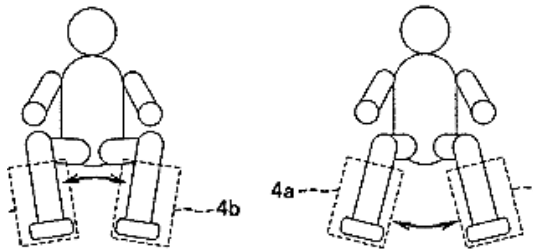
ストレッチに関する技術

特許権の提供条件等

提供条件等については、別途ご相談ください

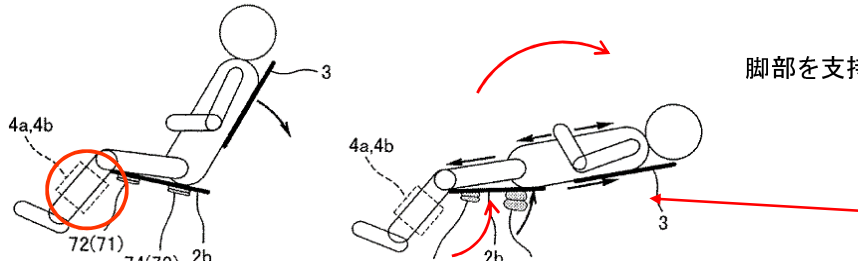
活用イメージと権利期間

①権利満了日: 2026/8/7



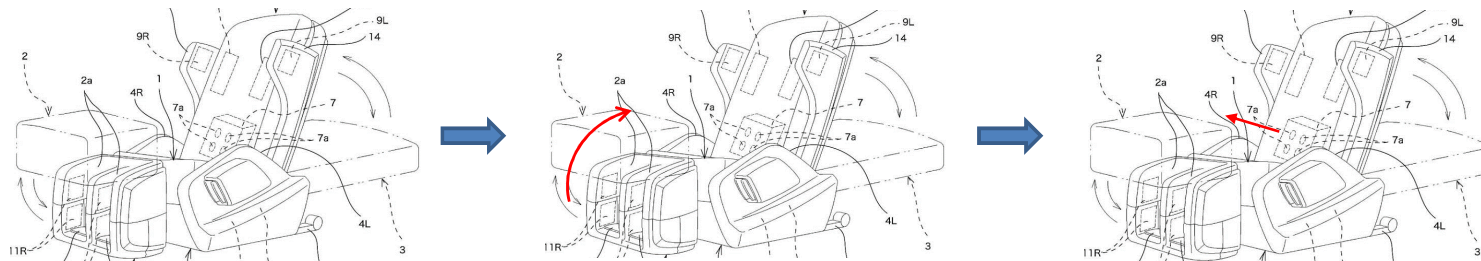
左右のフットレストは、左右方向へ傾倒させる傾倒機構を備えている
左右のフットレストの下部が近接した状態のまま上部を離隔させる動作、
左右のフットレストの上部が近接した状態のまま下部を離隔させる動作、を行う

②権利満了日: 2026/8/7



脚部を支持しつつ、座面部を上昇させると共に、背凭れ部を後方へ傾倒

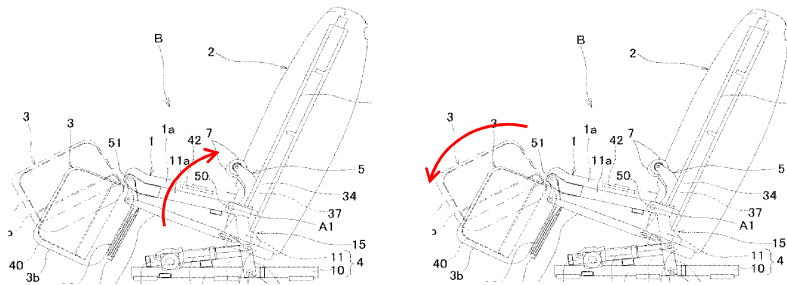
③権利満了日: 2028/9/13



上腕部を押圧し、脚載部を上方に回転させた状態で、背凭れ部の起立動作に連動して施療機構を上昇動作及び前進動作させる

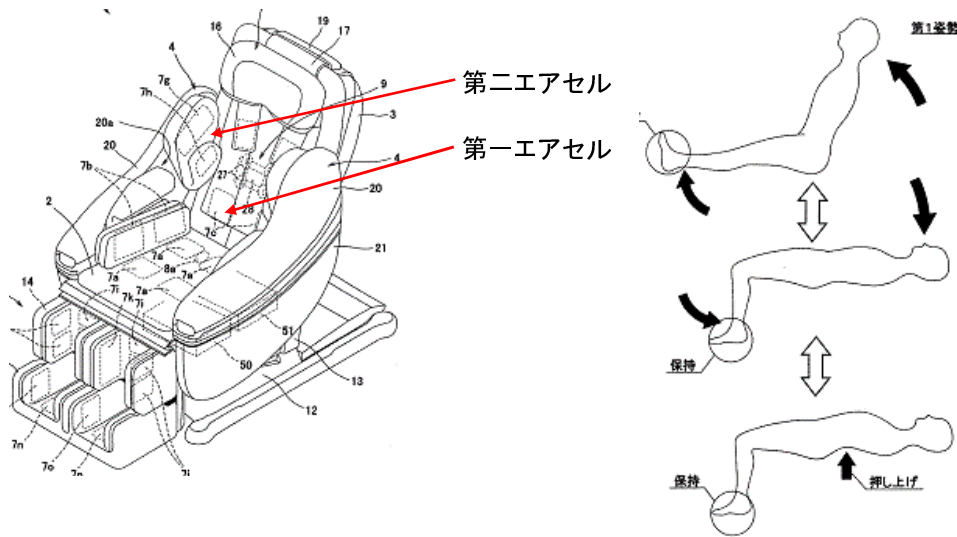
ストレッチに関する技術

④権利満了日:2030/3/9



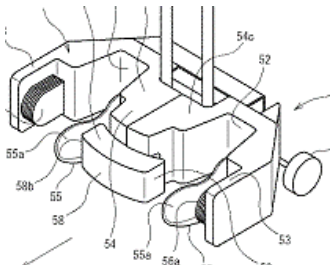
座部の上昇動作と脚部挟持状態での脚載せ部の下降動作と、を連動させる

⑤権利満了日:2028/7/16



背凭れ部のリクライニングに連動して、足首から足先の部位を保持し、第二エアセルで、上腕と肩の外側部を外方から押圧及び保持し、第一エアセルで腰部付近を押し上げるように押圧

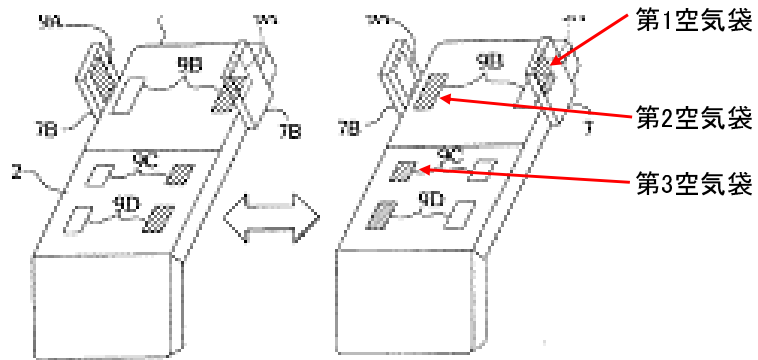
⑥権利満了日:2028/7/3



つま先側の部分を上下に移動させる第一駆動部と、つま先側の部分を左右に移動させる第二駆動部と、を有する足首を中心としてつま先側の部分を回転させる

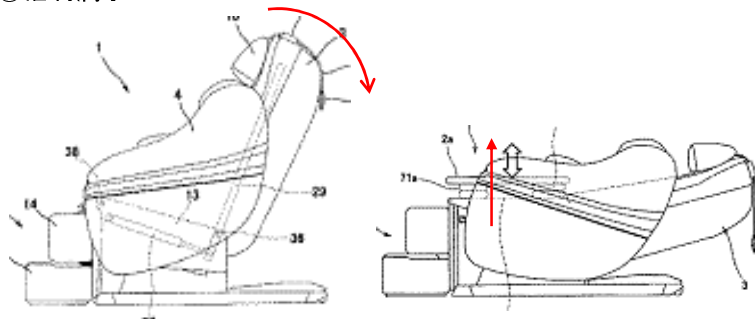
ストレッチに関する技術

⑦権利満了日:2028/9/22



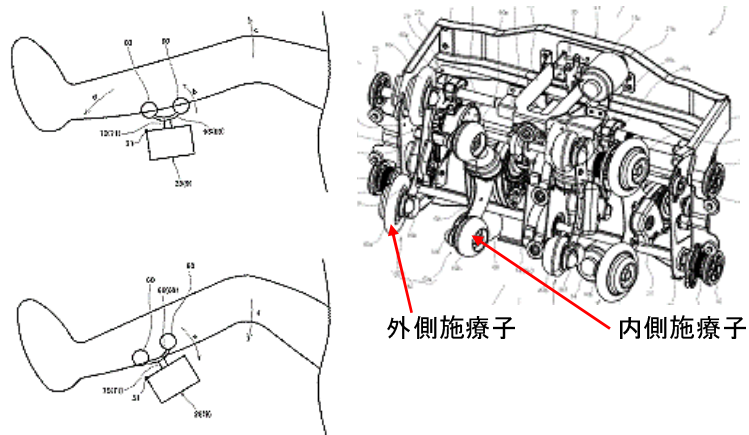
一方の第1空気袋と、他方の第2空気袋と、他方の第3空気袋と、が同時に膨張した状態となるようにエアの給排を制御する

⑧権利満了日:2026/8/7



背凭れ部のリクライニングに連動して、座部の上面全体を上昇させて臀部付近を押し上げる

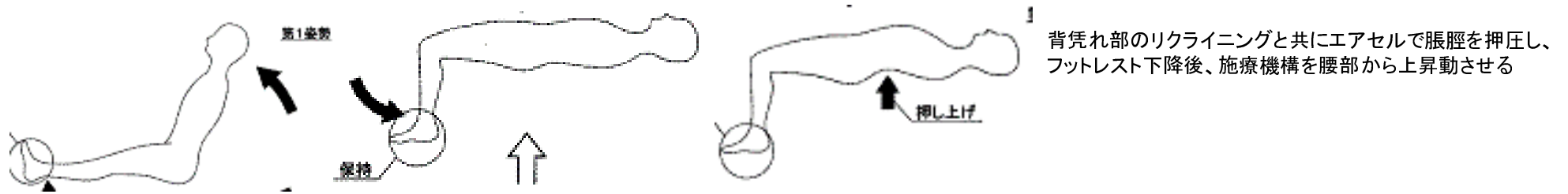
⑨権利満了日:2031/4/6



内側施療子と外側施療子で脚部を挟んだ状態で、マッサージ機構を前方又は後方へ揺動させる

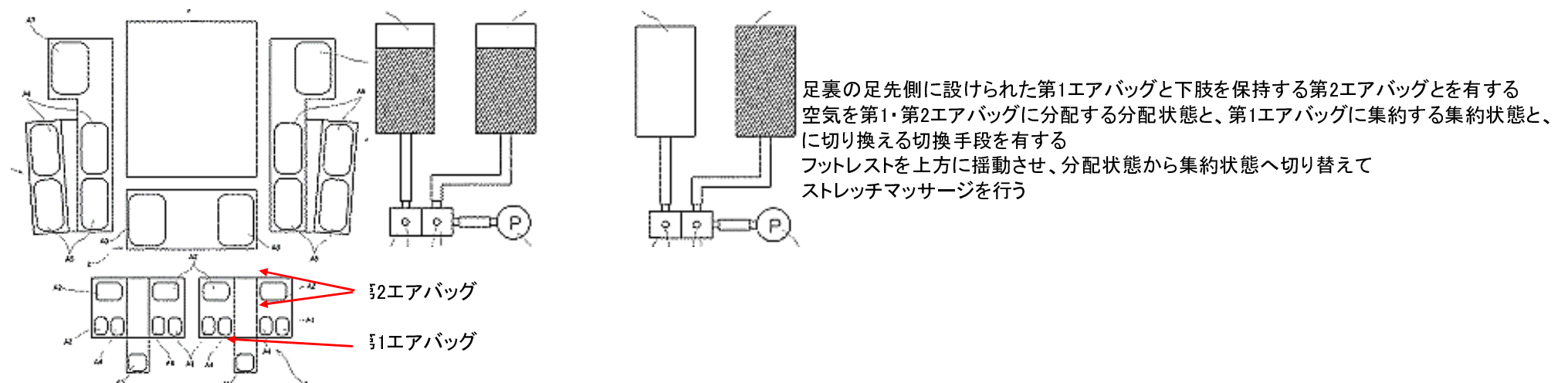
ストレッチに関する技術

⑩権利満了日:2028/7/16



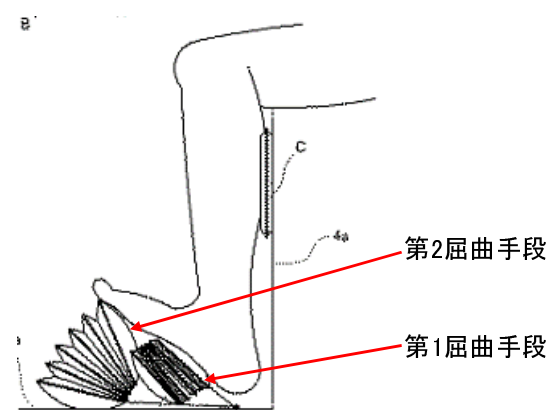
背凭れ部のリクライニングと共にエアセルで脹脛を押圧し、フットレスト下降後、施療機構を腰部から上昇させる

⑪権利満了日:2034/6/30



足裏の足先側に設けられた第1エアバッグと下肢を保持する第2エアバッグとを有する空気を第1・第2エアバッグに分配する分配状態と、第1エアバッグに集約する集約状態と、に切り換える切換手段を有する
フットレストを上方に揺動させ、分配状態から集約状態へ切り替えてストレッチマッサージを行う

⑫権利満了日:2035/2/10



第1屈曲手段(エアセル)と第2屈曲手段(エアセル)は、関節側を支点に身体支持面に取り付けられる
第1屈曲手段は、第2屈曲手段よりも関節に近い位置に配置
第1屈曲手段は、第2屈曲手段と重なり合った重合部を有する
第1屈曲手段を駆動させた後に、第2屈曲手段を駆動させる動作パターンを有する